

投資情報 ウィークリー

2019/04/22&05/07



もっと豊かに、ヒューマンライフ。

三津井証券株式会社

商号等 / 三津井証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号

加入協会 / 日本証券業協会

本レポート末尾の「投資にあたっての注意事項」をお読み下さい。

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資情報ウィークリー

2019年4月22日・5月7日合併号
調査情報部

今週の見通し

先週の東京市場は、急伸の後、高値もみ合いとなった。日経平均は前週末の米株高を受けて、週初に窓を空けて上伸し、昨年12月4日以来約4か月半ぶりに22000円台を回復した。注目の日米物品貿易協定交渉の閣僚会合が無難に通過したことから、その後も高値圏での推移となった。主力銘柄が幅広く買われ、売買代金も2兆円台を回復した。米国市場は堅調な米企業決算を映して、しっかりな展開となった。NYダウは昨年10月高値まで400ドルほどに迫った。また、NASDAQも約6か月半ぶりに8000ポイント台を回復した。為替市場でドル円は、米長期金利の上昇を受けて、1ドル112円台前半に円安が進んだ。ユーロ円は英国のEU離脱再延期を受けてユーロが強含みとなり1ユーロ126円台後半まで円が売られた。

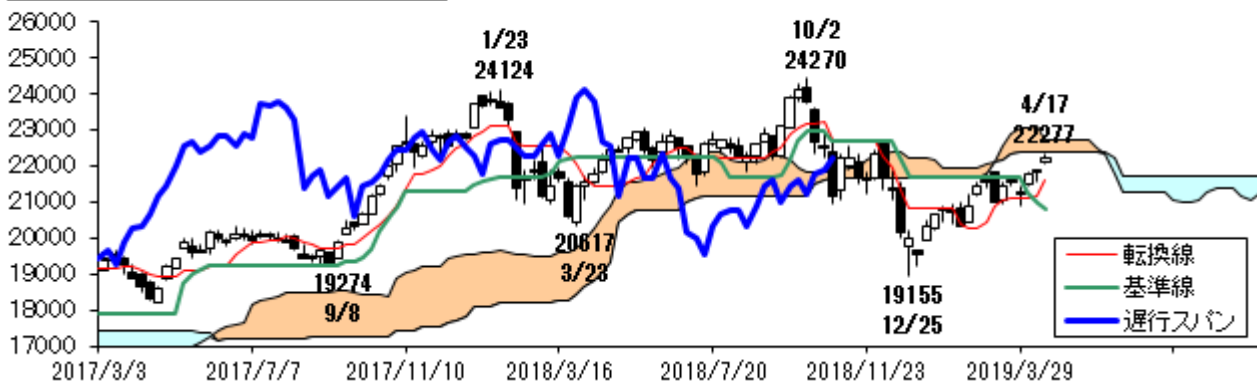
今週以降の東京市場は、神経質な展開となろう。主力企業の3月期決算発表に加え、GWの10連休後は海外市場の動きを織り込む形で、やや値動きが荒くなることが予想される。当面は個別選別色が強まるとみられるが、保守的な計画に対しても下値は限定的となろう。米国市場は企業決算を織り込みつつ、経済指標や金融政策睨みの展開となろう。為替市場でドル円は、米長期金利動向を映して、1ドル112円前後でもみ合いとなろう。ユーロ円は域内景気の減速を警戒して、ユーロの上値は限られ、1ユーロ126円を挟んだ動きとなろう。

今週以降、国内では26日(金)に3月の労働力調査、鉱工業生産、5月10日(金)に3月の毎月勤労統計、家計調査が発表されるほか、24日(水)、25日(木)に日銀金融政策決定会合が開かれる。また、30日(火)から1日(水)にかけて皇位継承が行われ、「平成」から「令和」に改元される。一方、海外では26日に1-3月期の米GDP、30日に4月の中国製造業PMI、1日に4月の米ISM製造業景況指数、3日(金)に4月の米雇用統計、8日(水)に4月の中国貿易統計が発表されるほか、30日、1日に米FOMCが開かれる。

テクニカル面で日経平均は先週、週初に200日線を一気に上回った。週足一目均衡表では抵抗帯下限に接近し、遅行スパンも実体線に絡んできた。抵抗帯下限(22444円:19日現在)を上抜ければ、12月3日高値(22698円)や抵抗帯上限(22727円:同)を目指す動きとなろう。一方、抵抗帯下限で上値を抑えられると、200日線(21880円:同)や転換線(21627円:同)、25日線(21676円:同)へのスピード調整となろう。(大谷 正之)

日経平均一目均衡表(週足:円)

Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

各種指数の推移 (Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成)



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資のヒント

☆株価が13週・26週の両移動平均線の上位で逆日歩が付いている主な取組良好銘柄群

18日時点の日証金貸借倍率は0.87倍と1倍を割り込む水準にある。個別でも東証1部上場で信用倍率1倍未満の銘柄は、652銘柄に達しており、日々の売買高に対して株不足数が高水準で、逆日歩が付いている銘柄も多数存在している。テクニカル的に好位置にある銘柄も多数散見され、注目したい。(野坂 晃一)

表. 株価が13週・26週の両移動平均線の上位で逆日歩が付いている主な取組良好銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	予想経常利 益伸率(%)	信用倍率 (倍)	貸借倍率 (倍)	逆日歩(円)	13週乖離率 (%)	26週乖離率 (%)
6861	キーエンス	72570	35.9	5.74	15.4	0.49	0.05	1.2	10.87	18.21
9983	ファストリ	63270	39.1	6.71	7.1	0.15	0	1.05	19.04	14.4
4922	コーセー	21550	32	5.97	18.3	0.31	0.01	0.4	15.34	21.04
8111	ゴールドウイン	17530	48.3	10.37	54.5	0.26	0.05	0.35	23.75	39.81
6146	ディスコ	18960	24.5	3.19	-28.3	0.5	0.06	0.35	16.87	21
7309	シマノ	18080	31	3.69	-0.8	0.13	0.06	0.3	6.79	10.86
4967	小林製薬	9590	39.7	4.54	1.9	0.08	0	0.25	8.2	18.12
4661	OLC	12435	51	5.21	2.8	0.5	0.01	0.25	2.63	7.75
9601	松竹	12820	61.3	1.9	11	0.73	0.2	0.25	10.2	13.89
2326	デジアーツ	9440	65.6	18.2	36.2	0.22	0.02	0.2	9.04	28.22
4911	資生堂	8317	43.9	7.4	9.6	0.4	0	0.15	10.8	14.93
6103	オークマ	6480	11.6	1.29	17.3	0.45	0.28	0.15	7.8	13.88
9010	富士急	4185	120.1	8.32	8.9	0.02	0	0.1	5.67	17.72
6908	イリソ電子	5710	32.8	2.64	-14.9	0.37	0	0.1	14.2	20.78
2685	アダストリア	2842	22.2	2.52	36.1	0.14	0	0.1	22.69	32.33
6750	エレコム	3620	23.5	3.5	2	0.13	0.01	0.1	8.99	17.5
6474	不二越	5400	12.7	1.18	11.5	0.36	0.03	0.1	19.73	22.26
6857	アドテック	3210	11.4	3.3	163.6	0.49	0.03	0.1	20.26	31.26
6645	オムロン	5940	24.3	2.37	-18.4	0.22	0.04	0.1	17.38	25.51
6269	三井海洋	3540	16.6	1.3	-37.5	0.2	0.04	0.1	15.67	23.38
6135	牧野フ	4905	8	0.78	16.2	0.62	0.04	0.1	9.22	12.94
7581	サイゼリヤ	2463	26.1	1.45	6.8	0.2	0.07	0.1	15.5	17.7
9090	丸和運機関	3860	31.9	5.53	22.1	0.47	0.08	0.1	4.64	12.74
2222	寿スピリッツ	4565	37.1	8.25	15.9	1.84	0.1	0.1	6.33	5.22
6284	ASB機械	4130	14	2.31	19.3	0.28	0.1	0.1	6.27	9.34
4577	ダイト	3960	13.5	1.39	2.5	3.54	0.14	0.1	16.07	9.95
6622	ダイヘン	3090	13.9	1.01	-14.1	0.32	0.16	0.1	11.8	18.42
4587	ペブドリ	5790	276.1	47.17	14.1	0.94	0.25	0.1	11.57	21.12
2127	日本M&A	3110	59.1	19.41	7.1	0.8	0.26	0.1	7.25	14.13
6929	日セラ	3050	28	1.62	0.9	0.5	0.37	0.1	7.9	12.02
4617	中国塗	1051	-	0.97	-	0.06	0	0.05	5.76	8.42
2492	インフォMT	1482	104.3	16.5	3.2	1.08	0.01	0.05	13.98	17.7
5191	住友理工	1032	53.5	0.65	-24.7	0.12	0.01	0.05	3.36	3.29
6136	OSG	2225	14.2	1.72	6.3	0.55	0.02	0.05	2.09	1.81
6055	Jマテリアル	1629	32.1	7.64	29.6	0.3	0.03	0.05	16.45	27.76
6619	WSCOPE	1669	174.2	2.93	-	0.41	0.04	0.05	15.98	29.52
6817	スミタ	1711	13	1.36	24.8	0.22	0.04	0.05	16.07	22.74
6951	日電子	2200	26.5	2.81	26.1	0.2	0.06	0.05	12.77	16.46
6349	小森	1330	70.4	0.6	-59.3	0.25	0.09	0.05	10.49	12.05
7222	産車体	1051	28.4	0.86	338.5	0.07	0.09	0.05	6.7	9.22
9107	川崎汽	1508	-	0.75	-	0.56	0.1	0.05	6.67	3.13
6794	フォスター	1728	-	0.71	-55.9	0.73	0.12	0.05	7.15	12.97
8008	4°Cホールデ	2438	16.3	1.27	-20.6	0.19	0.13	0.05	12.14	9.01
6961	エンプラス	2983	111.8	0.73	-51.4	0.44	0.17	0.05	1.07	0.83
6140	旭タイヤ	799	22.7	0.77	-45.8	0.65	0.19	0.05	5.14	12.09
6768	タムラ	699	9.3	1.25	-14.2	0.24	0.22	0.05	13.8	17.97
4062	イビデン	1772	247.4	0.91	-29	0.47	0.23	0.05	8.79	11.23
6966	三井ハイテク	1318	98.2	1.02	10.2	0.45	0.23	0.05	24.68	25.82
3397	トリドール	2422	33.2	2.71	-41.2	0.54	0.24	0.05	10.35	16.05
7241	フタバ	708	12.6	1	-33.4	1.01	0.29	0.05	19.15	19.53

※指標は4/18日時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

今週の参考銘柄

ミネベアミツミ(6479)

19年3月期第3四半期(4-12月)業績は売上高が前年同期比6.4%増の6989.3億円、営業利益が同4.1%増の650.3億円となり、売上高は過去最高を更新した。機械加工品事業は主力のボールベアリングが自動車向けの省エネ・安全装置用に加え、ファンモーター向けの需要が拡大したほか、民間航空機用ロッドエンドベアリングも中小型機市場の回復を受け増加した。また、HDD向けピボットアッセンブリーは市場縮小に伴い、販売数量、売り上げとも減少した。部門収益は10.6%増収、19.6%営業増益となった。一方、電子機器事業はステッピングモーターをはじめとするモーターが自動車向けに好調だったものの、スマホ向け液晶バックライトは需要減少に伴い、売り上げが減少し、部門収益は同16.2%減収、28.5%減益となった。さらに、ミツミ事業ではスマホ向けのカメラ用アクチュエーターの売り上げが減少する一方、ゲーム機器等の機構部品やスイッチ、アンテナ、コネクタなどが好調で、同47.9%増収、21.3%増益となった。会社側では第3四半期以降のスマホ部品の急減速、HDD部品の低調、機構部品の在庫圧縮などを考慮し、通期計画を売上高で400億円、営業利益で100億円引き下げた。続く20年3月期はバックライトの減少が続くものの、ベアリングや機構部品がけん引するとみられるほか、4月10日に公開買い付けで連結子会社化したユーシン(6985:手続きを経て上場廃止に)の寄与(18年12月期は売上高1485億円、営業利益70.4億円)も期待されよう。本決算の発表予定日は5月8日。

日機装(6376)

18年12月期業績は受注高が前期比22.8%増の1724.9億円、売上収益が同17.3%増の1653.2億円、営業利益が同18.2%増の103.0億円と計画比上振れ着地となった。工業部門は同22.6%増収、8.0%営業増益で、インダストリアル事業ではLNG受け入れ基地やFSRU(浮体式LNG貯蔵再ガス化設備)に利用される大型のクライオジェニックポンプ(低温液化ガス用ポンプ)案件の好調がけん引したほか、精密機器事業も半導体製造業界向けの新型温水ラミネーター装置が伸びた。さらに、航空宇宙事業では主力製品のカスケードの需要回復で増収となったうえ、宮崎新工場やベトナム・ハノイ第2工場の竣工で増産体制も整った。医療部門は同9.2%増収、41.3%増益で、メディカル事業では国内の人工透析装置需要の回復に加え、中国向け部品販売がけん引した。続く19年12月期は売上収益1720億円(前期比4.0%増)、営業利益110億円(同6.8%増)を計画している。インダストリアル事業の好調や航空宇宙事業の新工場本格稼働、透析装置のグローバル展開などで、全セグメントでの増収増益を目指す。また、同社は世界に先駆けて実用レベルの「深紫外線LED」を開発、量産化しており、水銀フリーの流水殺菌モジュールを展開していく。第1四半期決算の発表予定日は5月15日。

ジャパンマテリアル(6055)

19年3月期第3四半期(4-12月)業績は売上高が前年同期比37.7%増の264.8億円、営業利益が同57.4%増の64.5億円となった。半導体市場では大手半導体メーカーの新規設備投資抑制やスマートフォン市場の成長鈍化による一部生産調整の動きが見られたものの、IoT普及によるデータセンター向けや車載向けの増加、スマートフォンの大容量・高機能化などにより、半導体需要そのものは堅調が続いた。エレクトロニクス関連事業のイニシャル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は、半導体メーカーの増産投資が続き好調に推移した。オペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)も半導体メーカーの順調な生産活動を背景に特殊ガス販売や半導体製造装置メンテナンスが伸びた。セグメント収益は同38.9%増収、54.3%増益となった。また、グラフィックソリューション事業もデジタルサイネージ向けが好調で、同17.6%増収、16.0%増益となった。通期計画は据え置かれたが、第3四半期までの営業利益の進捗率は83.8%に達しており、前年同期の69.7%を大きく上回っている。第3四半期も減速感はみられなかったことから、上振れ着地の公算は大きいと思われる。本決算の発表予定日は5月14日。

(大谷 正之)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

今週の参考銘柄

ウエルシアHD(3141)

薬剤師 5000 名程度を擁し、調剤併設(前期末で併設率が約 7 割)、カウンセリング営業、深夜営業、介護を軸にしたウエルシアモデルを展開、地域の「かかりつけ薬局」としてドミナント展開を推進。M&A と積極出店(前期末の国内店舗数合計は 1874 店、海外は 4 店)により事業規模を拡大している。前期の売上高は前年比 12%増の 7791 億円、営業利益は同 0.7%増の 290 億円。既存店売上高は前年比 5.2%増と計画(3.8%増)を上回ったが、出店の遅れ、調剤報酬改定の影響、人件費の増加等が影響した。今期は、売上高が前年比 9.1%増の 8500 億円、営業利益は同 13.6%増の 330 億円を見込む。出店は 127 店、既存店売上高は前年比 4%増と高い伸びを計画。また、自動発注システムの導入や業務の効率化などコストコントロールの強化などによって人件費比率拡大の抑制効果も期待されよう。

ファンケル(4921)

中国は 4 月 1 日から付加価値税を従来の 16%から 13%へ引き下げた。また、5 月 1 日の労働節から 4 日間の連休となる。景気浮揚のための消費喚起が主目的で、日本を訪れる中国人も増えそうで、同社のインバウンド売上の伸びが期待されよう。なお、同社の 19 年 3 月期第 3 四半期(4~12 月)の営業利益は 106.6 億円で、通期計画に対する進捗率は 83%強に達している。また、中期経営計画では 2021 年 3 月期に営業利益 180 億円という目標を掲げている。本決算の発表予定日は 4 月 25 日。

ソニー(6758)

今期は 800 万画素クラスの車載用 CMOS イメージセンサーの量産化スケジュールに注目している。本決算の発表予定日は 4 月 26 日。

デンソー(6902)

子会社のエヌエスアイテクスが開発する次世代半導体 IP「DFP」に注目。「DFP」は CPU や GPU とも違って省電力で複雑な計算を高速で処理できるため、自動運転車用への搭載が想定されている。本決算の発表予定日は 4 月 26 日。

SUMCO(3436)

19 年 12 月期第 1 四半期(1-3 月)の会社計画は、営業利益が前年同期比 3%減の 190 億円。300 mm ウエハの値上げをするが、円高、償却負担増等で若干減益になる計画。なお、長期契約以外の販売価格の動向に注目したい。第 1 四半期の決算発表予定日は 5 月 8 日。

村田製作所(6981)

前期は中国や北米のスマホ関連向けが苦戦したようだが、車載向けの拡大やセラミックコンデンサの値上げ等によってカバー出来たかどうか(会社計画の営業利益は 2750 億円)に注目している。また、今期は中国のスマホ関連向けの回復、車載や 5G 関連向けの伸びによる収益の拡大に期待している。本決算の発表予定日は 4 月 26 日。

(増田 克実)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<国内スケジュール>

4月22日(月)

- 18年度粗鋼生産(鉄連)
- 3月主要コンビニ売上高(フランチャイズチェーン協)

4月23日(火)

- 3月企業向けサービス価格(日銀、8:50)
- 基調的なインフレ率を捕捉するための指標(日銀、14:00)

4月24日(水)

- 日銀金融政策決定会合(25日まで)
- 2月全産業活動指数(14:00、内閣府)
- 2月景気動向指数改定値(14:00、内閣府)
- 上場 ハウテレビジョン<7064>東M

4月25日(木)

- 日銀金融政策決定会合最終日、日銀展望レポート、黒田日銀総裁会見
- 上場 トビラシステムズ<4441>、グッドスピード<7676>東M

4月26日(金)

- 4月東京都区部消費者物価(8:30、総務省)
- 3月有効求人倍率・労働力調査(8:30、厚労・総務省)
- 3月鉱工業生産・出荷・在庫(8:50、経産省)
- 3月小売業販売
- 3月住宅着工件数
- 3月百貨店・スーパー売上高

4月29日(月) 昭和の日

4月30日(火)

- 天皇陛下が退位。

5月1日(水)

- 「即位の日」皇太子殿下が新天皇に即位。新元号「令和」施行

5月3日(金) 憲法記念日

5月4日(土) みどりの日

5月5日(日) こどもの日

5月7日(火)

- 4月製造業PMI(日経・MTI、9:30)
- 4月車名別新車販売(自販連・全軽協、14:00)

5月8日(水)

- 4月マネタリーベース(日銀、8:50)

5月9日(木)

- 特になし

5月10日(金)

- 3月毎月勤労統計(8:30、厚労省)
- 3月家計調査(8:30、総務省)
- 3月消費動向指数(8:30、総務省)
- 24、25日の金融政策決定会合における主な意見(日銀、8:50)
- オプション取引SQ算出日

【参考】直近で発表された主な経済指標

3月 首都圏マンション販売前年比	-7.7%
2月 第3次産業活動指数前月比	-0.6%
2月 鉱工業生産前月比	+0.7%
2月 鉱工業生産前年比	-1.1%
3月 全国CPI前年比	+0.5%
4月 製造業PMI 速報	49.5

発表、報道等より証券ジャパン調査情報部が作成

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<国内決算>

4月22日(月)

15:00~ 【1Q】アンジェス<4563>
16:00~ 【1Q】コクヨ<7984>

4月23日(火)

14:00~ OBC<4733>
15:00~ オービック<4684>、東製鉄<5423>、日本電産<6594>
【1Q】シマノ<7309>、キヤノン電<7739>、キヤノンMJ<8060>
16:00~ 小糸製<7276>

4月24日(水)

12:00~ ジャフコ<8595>
13:00~ キッコーマン<2801>
15:00~ エムスリー<2413>、イビデン<4062>、JSR<4185>、ソフトバンク<4726>、日立建機<6305>、アマノ<6436>、オムロン<6645>、航空電子<6807>、スタンレー<6923>、ファナック<6954>、日車商<7102>、コメリ<8218>
【1Q】LINE<3938>、花王<4452>、キヤノン<7751>
【2Q】サイバエジェ<4751>
16:00~ 富士通ゼ<6755>、キーエンス<6861>、大阪ガス<9532>
時間未定 【1Q】Vコマース<2491>、中外薬<4519>

4月25日(木)

8:00~ 松井証<8628>
11:00~ 山洋電<6516>、川重<7012>、マネックスG<8698>
12:00~ アステラス薬<4503>
13:00~ 積水化<4204>、第一三共<4568>
14:00~ 東海理化<6995>、相鉄HD<9003>
15:00~ 野村不HD<3231>、ティーガイア<3738>、アカツキ<3932>、アイカ<4206>、日立化成<4217>、NRI<4307>、栄研化<4549>、ヤフー<4689>、ファンケル<4921>、富士電機<6504>、メルコ<6676>、アンリツ<6754>、日本トリム<6788>、アドバンテス<6857>、京セラ<6971>、日野自<7205>、太平洋工<7250>、ネットワン<7518>、信越ポリマ<7970>、日立ハイテク<8036>、日ガス<8174>、大和証G<8601>、野村<8604>、平和不<8803>、センチュリー21<8898>、JR東日本<9020>、関西電<9503>、北陸電<9505>、東北電<9506>、北海電<9509>、メタウォーター<9551>
【1Q】山パ<2212>、鳥居薬<4551>、大塚商会<4768>、ISID<4812>、小林製薬<4967>
【2Q】ノビアHD<4928>、前田工織<7821>
16:00~ OLC<4661>、日立金<5486>、エクセディ<7278>、任天堂<7974>、JR東海<9022>
18:00~ インフォコム<4348>
時間未定 ZOZO<3092>

4月26日(金)

9:00~ トクヤマ<4043>
10:00~ 東海東京<8616>
11:00~ 大東建託<1878>、NESIC<1973>、MARUWA<5344>、大同特鋼<5471>、豊田織<6201>、セガサミーHD<6460>、デンソー<6902>、岡三<8609>、川崎船<9107>、東邦ガス<9533>
【1Q】ヒューリック<3003>
12:00~ ゼオン<4205>、JPX<8697>、郵船<9101>、商船三井<9104>
13:00~ 関電工<1942>、CTC<4739>、ガイシ<5333>、共英製鋼<5440>、ジェイテクト<6473>、三菱電<6503>、エプソン<6724>、アイシン<7259>、三井物<8031>、小田急<9007>、南海電<9044>、日通<9062>、三菱倉<9301>、四国電<9507>
14:00~ トヨタ紡織<3116>、コーエーテクモ<3635>、大和工<5444>、牧野フライス<6135>、豊田合<7282>、伊藤忠<8001>、SBI<8473>、東武<9001>、京成<9009>、飯野海<9119>、東京ガス<9531>
14:00~ 【1Q】東亜合成<4045>
15:00~ きんでん<1944>、九電工<1959>、日本M&A<2127>、SMS<2175>、NSSOL<2327>、信越化<4063>、コーセー<4922>、TOTO<5332>、特殊陶<5334>、大阪チタ<5726>、東邦チタ<5727>、オークマ<6103>、コマツ<6301>、タダノ<6395>、日立<6501>、マキタ<6586>、JVCKW<6632>、NEC<6701>、ソニー<6758>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

- TDK<6762>、アルプスアル<6770>、マクセルHD<6810>、新光電工<6967>、村田製<6981>、ショーワ<7274>、FCC<7296>、TSテック<7313>、日ライフライン<7575>、トプコン<7732>、東エレクト<8035>、京王<9008>、JR西<9021>、ヤマトHD<9064>、日立物流<9086>、SGHD<9143>、JAL<9201>、ANA<9202>、NTTドコモ<9437>、中国電<9504>、九州電<9508>、沖縄電<9511>、DTS<9682>、SCSK<9719>【1Q】インフォマート<2492>、JT<2914>、MonotaRO<3064>、ALS HD<3085>、多木化<4025>、ポーラオールHD<4927>、日電硝<5214>、JIA<7172>、タムロン<7740>、東競馬<9672>【2Q】M&Aキャピタ<6080>、SHOEI<7839>【3Q】グリー<3632>、テクノプロHD<6028>
- 16:00～ 中電工<1941>、日東電工<6988>、新明和<7224>、トッパンフォー<7862>、豊田通商<8015>、ゼンリン<9474>、中部電<9502>、Jパワー<9513>
- 16:00～ 【1Q】ナブテスコ<6268>【2Q】三菱総研<3636>、FPG<7148>【3Q】レーザーテック<6920>
- 時間未定 ユニゾHD<3258>、富士通<6702>【1Q】フューチャー<4722>、マブチ<6592>

5月7日(火)

- 13:00～ マクニカ富エレクト<3132>、住友精密<6355>、HOYA<7741>
- 14:00～ 東京鉄<5445>、サカイ引越<9039>
- 15:00～ ニチアス<5393>、アトム<7412>、ノジマ<7419>、カッパクリ<7421>、オリックス<8591>、カプコン<9697>【1Q】ミルボン<4919>
- 16:00～ 長瀬産<8012>
- 17:00～ 信号<6741>
- 時間未定 LIXLビバ<3564>【1Q】ヤマハ発<7272>

5月8日(水)

- 11:00～ 三洋化成<4471>【1Q】DMG森精<6141>
- 12:00～ 双日<2768>
- 13:00～ トヨタ<7203>
- 14:00～ 日触媒<4114>、ローム<6963>、オカムラ<7994>
- 15:00～ 不二製油<2607>、ミツコシイセタン<3099>、コムチュア<3844>、キッセイ<4547>、ラウンドワン<4680>、富士フイルム<4901>、山陽特鋼<5481>、アサヒHD<5857>、ディスコ<6146>、精機<6222>、住友重<6302>、ブラザー<6448>、ミネベアミツミ<6479>、エレコム<6750>、横河電<6841>、シスメックス<6869>、イリソ電子<6908>、IHI<7013>、ワークマン<7564>、エフピコ<7947>、PALTAC<8283>、ソフトバンク<9434>、NSD<9759>、オートバックス<9832>【1Q】アサヒ<2502>、サントリーBF<2587>、カゴメ<2811>、SUMCO<3436>、協和キリン<4151>、アシックス<7936>、東建物<8804>、船井総HD<9757>【2Q】コロプラ<3668>【3Q】パンパシHD<7532>
- 16:00～ ベネ・ワン<2412>、ヒロセ電<6806>、ホンダ<7267>、スクリン<7735>、東祥<8920>、スカパ<9412>
- 時間未定 【1Q】アウトソシング<2427>、ロイヤルHD<8179>、日本エスコン<8892>

5月9日(木)

- 10:00～ リンナイ<5947>
- 11:00～ カカクコム<2371>、帝人<3401>、メイテック<9744>【1Q】日清紡HD<3105>
- 12:00～ 小野薬<4528>【1Q】キリンHD<2503>
- 13:00～ 東鉄工<1835>、日清食HD<2897>、東洋紡<3101>、ダイセル<4202>、塩野義<4507>、中国塗<4617>、パイオラクス<5988>、三菱重<7011>、三菱ロジ<7105>、リンテック<7966>、住友商<8053>、パロー<9956>
- 14:00～ 東ソー<4042>、日油<4403>、科研薬<4521>、ノリタケ<5331>、古河機金<5715>、丸紅<8002>、高島<8007>、三菱商<8058>、ニプロ<8086>、稲畑産<8098>、芙蓉リース<8424>、京阪HD<9045>
- 15:00～ 東急建設<1720>、UT G<2146>、エディオン<2730>、あらた<2733>、TOKAI<3167>、参天薬<4536>、ツムラ<4540>、テルモ<4543>、日本製鉄<5401>、神戸鋼<5406>、三井金<5706>、東邦鉛<5707>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

- 住友鋳<5713>、東芝機<6104>、ソラスト<6197>、ダイキン<6367>、SANKYO<6417>、日精工<6471>、JES<6544>、コンテック<6639>、OKI<6703>、パナソニック<6752>、シャープ<6753>、全国保証<7164>、武蔵精密<7220>、日信工業<7230>、Uアローズ<7606>、コロナ<7616>、ニコン<7731>、リコー<7752>、バンナム<7832>、エイベックス<7860>、フジシール<7864>、ヨネックス<7906>、ニチハ<7943>、ユニシス<8056>、東邦HD<8129>、ケーズ<8282>、オリコ<8585>、アニコム<8715>、ハマキョウ<9037>、NTTデータ<9613>、コナミHD<9766>、ヤマダ電機<9831>、ソフトバンクG<9984>
 【1Q】サッポロHD<2501>、昭和電工<4004>、SOSEI<4565>、トレンド<4704>、ライオン<4912>、アース製薬<4985>、東海カ<5301>、NISSHA<7915>、藤田観<9722>、富士ソフト<9749>
 【2Q】GMOPG<3769>
 【3Q】アルペン<3028>、メルカリ<4385>
- 16:00～ ミライトHD<1417>、システナ<2317>、デジアーツ<2326>、扶桑化<4368>、オカモト<5122>、ジーテクト<5970>、ヤマハ<7951>、東センチュリー<8439>、サンフロンティア<8934>、FJネクスト<8935>、西鉄<9031>、テレ朝HD<9409>
 【1Q】住友ゴム<5110>、市光工<7244>
- 17:00～ 三菱自<7211>
 時間未定 コスモエネルギー<5021>

5月10日(金)

- 8:00～ 太陽HD<4626>
 10:00～ アリアケ<2815>
 11:00～ 清水建<1803>、日金属<5491>、洋シヤッター<5936>、三洋工<5958>、菱電商<8084>
 12:00～ 五洋建<1893>、東洋水産<2875>
 13:00～ ALSOK<2331>、旭化成<3407>、レンゴー<3941>、大日住薬<4506>、東プレ<5975>、グローリー<6457>、ニフコ<7988>、兼松<8020>、セブン銀行<8410>、日立キャピ<8586>、山九<9065>、センコーG<9069>
 13:00～ 【1Q】SBS HD<2384>、リョービ<5851>
 14:00～ 石油資源<1662>、大成建<1801>、長谷工<1808>、西松建<1820>、伊ハム米久<2296>、味の素<2802>、田辺三菱<4508>、BML<4694>、フジテック<6406>、極東開発<7226>、プレス工<7246>、AOKI HD<8214>、ニッコンHD<9072>、日空ビル<9706>、帝国ホテル<9708>
 15:00～ ホクト<1379>、コムシスHD<1721>、三住建設<1821>、高砂熱<1969>、日本粉<2001>、DeNA<2432>、WDB<2475>、日清オイリオ<2602>、セリア<2782>、マツモトキヨシ<3088>、ココカラ<3098>、プレサンス<3254>、東急不HD<3289>、シップHD<3360>、トーカロ<3433>、オープンドア<3926>、日曹達<4041>、大阪ソーダ<4046>、ロート<4527>、関西ペ<4613>、Dガレージ<4819>、ニッタ<5186>、板硝子<5202>、黒崎播磨<5352>、大平金<5541>、住友電<5802>、ニッパツ<5991>、ニューフレア<6256>、平田機工<6258>、オイルス<6282>、サトーHD<6287>、ハーモニック<6324>、椿本チエイン<6371>、平和<6412>、東芝テック<6588>、ダイヘン<6622>、日新電<6641>、IDEC<6652>、ワコム<6727>、EIZO<6737>、ホンデン<6804>、アズビル<6845>、ウシオ電<6925>、ニチコン<6996>、日立造<7004>、ケーヒン<7251>、スズキ<7269>、島津<7701>、オリンパス<7733>、タカラミー<7867>、ミズノ<8022>、三井不<8801>、レオパレス21<8848>、カチタス<8919>、京急<9006>、名鉄<9048>、セイノーHD<9076>、ブックオフGH<9278>、上組<9364>、近鉄エクス<9375>、NTT<9432>、レノバ<9519>、ベネッセHD<9783>
 【1Q】JAC<2124>、ネクソン<3659>、オンコリス<4588>、楽天<4755>、ToyoTire<5105>、カーボン<5302>、オプトラ<6235>、三井海洋<6269>、クボタ<6326>、日セラミック<6929>、ナカニシ<7716>
 【2Q】夢真HD<2362>、スシローG<3563>、長谷川香<4958>、学研HD<9470>、西尾レント<9699>
 【3Q】湖池屋<2226>、物語コーポ<3097>、アイスタイル<3660>、渋谷工<6340>
- 16:00～ 住友林<1911>、ライト工<1926>、ゲオHD<2681>、日化薬<4272>、PI<4290>、生化学<4548>、JCRファーマ<4552>、ゼリア新薬<4559>、FUJIMI<5384>、ダイフク<6383>、三井E&S<7003>、レック<7874>、青山商<8219>、りそなHD<8308>、ニチイ学館<9792>、ミロク情報<9928>
 【1Q】ペッパー<3053>、洋インキHD<4634>、パイロット<7846>、リリカラ<9827>
 【2Q】JBR<2453>、ASB機械<6284>
- 17:00～ 【1Q】オプテックスG<6914>
 時間未定 日鉄物産<9810>、やまや<9994>
 【1Q】ブロードリーフ<3673>、フルキャストHD<4848>、ホシザキ<6465>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<海外スケジュール・現地時間>

4月22日(月)

米 3月中古住宅販売
休場 英、独、仏、伊、スペイン、蘭、ベルギー、
ギリシャ、スイス、ノルウェー、ポーランド、
ハンガリー、香港、豪、NZ、南ア(イースター)

4月23日(火)

米 3月新築住宅販売
休場 トルコ(国民権と子供の日)

4月24日(水)

独 4月IFO景況感指数

4月25日(木)

ECB経済報告
米 3月耐久財受注
休場 豪、NZ(アンザックデー)

4月26日(金)

米 1~3月期GDP
休場 ギリシャ(ギリシャ正教聖金曜日)

4月28日(日)

スペイン総選挙

4月29日(月)

米 3月個人消費支出(PCE)物価
休場 ギリシャ(イースター)、
ベトナム(臨時休日)

4月30日(火)

FOMC(5月1日まで)
中 4月製造業PMI
独 4月雇用統計
独 4月消費者物価
欧 1~3月期ユーロ圏GDP
欧 3月ユーロ圏失業率
米 1~3月期雇用コスト
米 2月S&Pケース・シラー住宅価格
米 4月シカゴ景況感指数
米 4月消費者景気信頼感指数
休場 ベトナム(南部解放記念日)

5月1日(水)

FOMC最終日
米 4月ADP全米雇用報告
米 3月建設支出
米 4月ISM製造業景況指数
米 4月新車販売
休場 独、仏、スイス、ベルギー、ノルウェー、伊、
蘭、スペイン、ギリシャ、トルコ、ポーランド、
ハンガリー、メキシコ、コロンビア、ブラジル、
香港、韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、
タイ、インドネシア、比、ベトナム、ロシア、
南ア(レーバーデー)、中国(労働節)

5月2日(木)

中 4月財新・製造業PMI
米 3月製造業受注
休場 中国(労働節)

5月3日(金)

欧 4月ユーロ圏消費者物価
米 4月雇用統計
米 4月ISM非製造業景況指数
休場 中国(労働節)

5月6日(月)

欧 3月ユーロ圏小売売上高
休場 英国(アーリーメイ・バンクホリデー)、
韓国(振替休日)、タイ(特別休日)

5月7日(火)

米 3月消費者信用残高

5月8日(水)

独 3月鉱工業生産
中 4月貿易統計
休場 南アフリカ(総選挙)

5月9日(木)

中 1月消費者物価・卸売物価
米 3月貿易収支
米 3月卸売売上高
米 4月卸売物価
休場 ロシア(戦勝記念日)

5月10日(金)

英 1~3月期GDP速報値
米 4月消費者物価
米 4月財政収支

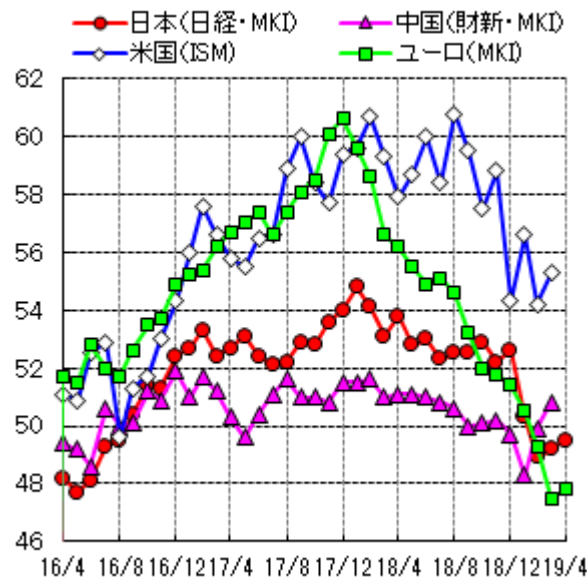
【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

【参考】直近で発表された主な経済指標

米	4月	NY州製造業景況指数	10.1
米	3月	鉱工業生産前月比	-0.1%
米	2月	貿易収支	-494億\$
米	2月	卸売在庫前月比	+0.2%
米	3月	小売売上高前月比	+1.6%
米	4月	フィラデルフィア連銀製造業景況感	8.5
米	3月	先行指数	+0.4%
独	4月	ZEW景況感指数現状	5.5
独	4月	ZEW景況感指数期待	3.1
独	3月	PPI前月比	-0.1%
欧	3月	ユーロCPI前月比	+1.0%
欧	4月	ユーロ圏製造業PMI	47.8
中	3月	貿易収支	+326.5億\$
中	3月	鉱工業生産前年比	+8.5%
中	3月	小売売上高前年比	+8.7%
中	1Q	GDP前期比	+1.4%
中	1Q	GDP前年比	+6.4%

発表、報道等より証券ジャパン調査情報部が作成

【参考】各国の製造業PMI



Bloombergデータより証券ジャパン調査情報部作成

<海外決算・現地時間>

4月22日(月)

ハリバートン

4月23日(火)

コカ・コーラ、P&G、ベライゾン、ユナイテッドテクノロジーズ、ロッキード・マーチン、アイロボット、イーベイ、ツイッター、テキサス・インスツルメンツ

4月24日(水)

キャタピラー、ボーイング、アライン、ザイリンクス、テスラ、ビザ、フェイスブック、ペイパル、マイクロソフト、バイオジェン、AT&T

4月25日(木)

ニューモント、バクスター、レイセオン、ロックウェル、3M、アマゾン、イルミナ、インテル、グラブハブ、スターバックス、ベリサイン、フォード

4月26日(金)

エクソン、シェブロン

4月29日(月)

スポティファイ、アルファベット

4月30日(火)

GM、ファイザー、コーニング、GE、マクドナルド、メルク、アカマイ、アップル、デボン・エナジー、ファイア・アイ

5月1日(水)

エスティ・ローダー、スクエア、クアルコム

5月2日(木)

ゾエティス、ダウ・デュポン、アクティビジョン、エクスペディア、ギリアド

5月7日(火)

エレクトロニック・アーツ

5月8日(水)

アルベマール、ディズニー

(東 瑞輝)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資にあたっての注意事項

【重要開示事項】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 執筆アナリストは、本資料におけるレポート対象企業の有価証券を保有しておらず、重大な利益相反関係にありません。
- 本資料は証券ジャパンが信頼できると考える情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性および完全性について証券ジャパンが保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、証券ジャパンは、理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料に記載された証券ジャパンの意見ならびに予測は、資料作成時点での証券ジャパンの見通しであり今後予告なしに証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツおよび体裁等も証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。2019年4月19日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。
- 掲載した企業について株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。銘柄の選択、投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料は証券ジャパンの著作物であり、著作権法によって保護されております。証券ジャパンの事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行所住所等 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
編集発行責任者 大谷 正之
商号等 株式会社証券ジャパン
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号
加入協会 日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2019年4月19日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

『金融商品取引法』に係る重要事項について

■ 国内上場投資信託(ETF)のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」・「為替変動リスク」・「カントリーリスク」・「信用リスク」及び「有価証券の貸付等におけるリスク」があります。基準価額の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面(上場有価証券等書面)』をよくお読みください。

■ 国内上場投資信託(ETF)の手数料など諸経費について

- 国内上場投資信託(ETF)の売買取引には、約定代金に対して最大 1.242%(税込み)(217,392 円以下の場合は、2,700 円(税込み))の委託手数料が必要となります。
- 国内上場投資信託(ETF)を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

■ 国内株式のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」と「発行者の信用リスク」があります。株価の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面(上場有価証券等書面)』をよくお読みください。

■ 国内株式の手数料など諸経費について

- 株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.242%(税込み)(217,392 円以下の場合は、2,700 円(税込み))の委託手数料が必要となります。
- 株式を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

商号等	三津井証券株式会社 金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号
加入協会	日本証券業協会
当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券金融商品あっせん相談センター

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。